今週（5月12日から5月16日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き幅広い業態から堅調な資金調達ニーズが見られた事で、出合いレートは0.475～0.478%を中心に推移する展開となった。なお、一部で試し取りも実施された事から0.525%での出合いもみられたが、相場への影響は限定的であった。

ターム物は、1W～3M物を中心に引き合いが散見された。引き続きロングターム物については、オファーサイドにレート目線を切り下げる動きが見られるものの、ビッドサイドの調達ニーズが弱く、目立った引き合いは見られなかった。

日銀当座預金残高は、週初534兆円弱でスタートしたものの、税揚げや債券発行により緩やかな減少が続いた結果、16日(金)には530兆円程度での着地込みとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、週を通して0.48～0.50%程度で安定して推移した。SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが堅調に推移した一方で、1Yゾーンは軟調に推移した。16日(金)に実施された3M物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも底堅く推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、不動産、建設、鉱業など複数の業態で大型発行が実施された。市場発行残高は、週を通して23兆円台前半で安定的に推移する展開となった。発行レートは引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/12 (月)	37,644.26	1.386	145.95	0.477	0.489	5,339,200
5/13 (火)	38,183.26	1.445	147.89	0.477	0.482	5,330,700
5/14 (水)	38,128.13	1.450	147.33	0.477	0.484	5,318,900
5/15 (木)	37,755.51	1.475	146.30	0.477	0.485	5,319,200
5/16 (金)	37,753.72	1.450	145.02	0.477	0.492	5,301,800

来週（5月19日から5月23日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
5/19 (月)	3月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 3月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TDB1Y 5/20発行 32,000億円		4月のユーロ圏消費者物価指数改定値
5/20 (火)		20Y 5/21発行 10,000億円	交付税借入 5/27借入 11,000億円	
5/21 (水)	4月の貿易統計(財務省 8:50)			4月の英消費者物価指数
5/22 (木)	野口審議委員 宮崎県金融経済懇談会における挨拶 3月の機械受注統計(内閣府 8:50)	10Y物価連動 5/23発行 2,500億円	交付税借入 5/30借入 11,000億円	4月の米中古住宅販売件数
5/23 (金)	4月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TDB3M 5/26発行 45,000億円		4月の米新築一戸建て販売件数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/19 (月) 日銀予想	400	▲ 2,100	▲ 1,700	国債補完	1,600		1,600	▲ 100	TB3M発行▲45,000償還45,000
5/20 (火) 弊社予想	1,000	▲ 1,000	0				0	0	TB1Y発行▲32,000償還32,000 エネルギー借入▲8,800期日8,700
5/21 (水) 弊社予想	500	▲ 16,000	▲ 15,500				0	▲ 15,500	20Y発行▲10,000
5/22 (木) 弊社予想	500	14,000	14,500				0	14,500	交付税借入▲11,000償還13,000
5/23 (金) 弊社予想	500	▲ 3,500	▲ 3,000				0	▲ 3,000	10Y物価連動発行▲2,500
週間合計	2,900	▲ 8,600	▲ 5,700	—	1,600	0	1,600	▲ 4,100	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出会いが中心になると予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.45~0.50%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、19日(月)に1Y物、23日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、21日(水)に五・十日による発行集中日が予定されており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、21日(水)に4月の貿易統計、22日(木)に野口審議委員 宮崎県金融経済懇談会における挨拶、3月の機械受注統計、23日(金)に4月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では19日(月)に4月のユーロ圏消費者物価指数改定値、21日(水)に4月の英消費者物価指数、22日(木)に4月の米中古住宅販売件数、23日(金)に4月の米新築一戸建て販売件数の発表などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。